**（様式1）**

小論文

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　名 |  |
| 所　属 | 　　　　　　研究科 　専攻 |
| 指導教員 |  |
| 研究題目 |  |
| 研究キーワード（5個程度） |  |
| ※指導を希望する副研究科等　　および教員名 |  |

※申請段階で決まっていない場合には、予定者名あるいは想定している研究科名等を必ず記入のこと。

　　このページに記載する内容はここまでとしてください。

　　次ページ以降に、下記の要項に従って、小論文を書いてください。

* フォーマットは自由記述とします。
* 専門外の人に向けてわかりやすく説明してください。
* 文字数はA4用紙（45文字／行 × 40行程度）で、図・表・グラフを含み3枚以内とします。英語の場合は、最大3000 ワードとします。

本文内に業績などを記載する場合は、氏名は記載せず、「申請者」と記してください。

* 以下の内容を含めて記載ください。
1. 自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性（先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）を簡潔、かつ、わかりやすく記述してください。そのうえで、学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。令和5年度(2023年度)日本学術振興会特別研究員に応募した者は、補足資料としてその申請書を添付しても良い。
2. このプログラムで得られる研究成果が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来の社会像の創出のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。
3. リゾーム型研究者育成プログラムの趣旨に則ったどのような『複合知』が必要と考え、それをどのように習得しようとしているか記述してください。
4. 本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキル（※）を身に着けようと考えているか、また、その理由と方法について記述してください。

（※本事業におけるトランスファラブルスキル：　イノベーション人材に必要とされる、独創性や自由な発想、チャレンジ精神、研究ニーズ発掘力、研究マネジメント能力、データ分析力、プレゼンテーション力および人を惹きつけるリーダーシップ等の広く転用・応用可能なスキル）

1. 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。